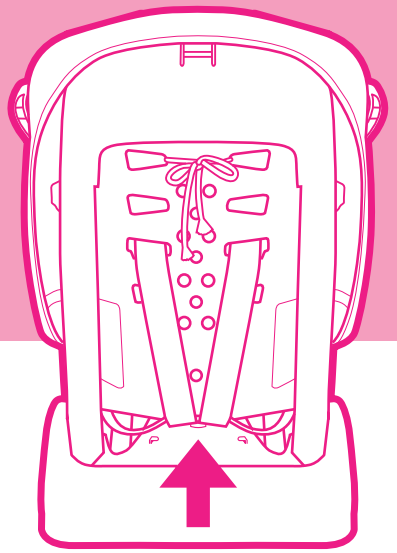
MUM'S CARRY™

レジェ チャイルドシート



この取扱説明書は、ここに
保管してください

企画・輸入元

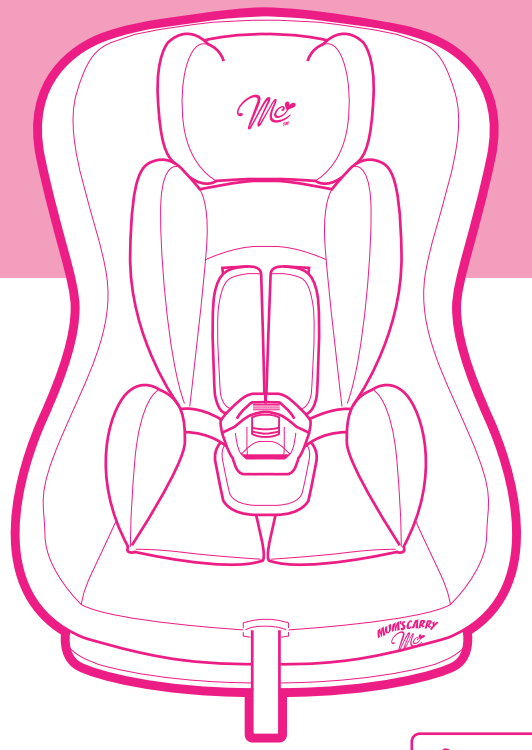
株式会社 シーエー産商

本社：〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL：0568-28-5333　FAX：0568-28-5340
www.ca-sansho.co.jp

MUM'S CARRY™

レジェ チャイルドシート

B-177 取扱説明書



ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18kgY
E1
04301313
LB-363

ご使用の前に必ずよくお読みください。いつでもご確認できるように大切に保管してください。

保証書付

※保証書は中面にあります。

シートが傷むおそれがあるため、本革シートの車両はそのまま取り付けないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。

ご使用になる前に、安全のため必ず お読みください。

●本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、最新のヨーロッパの安全基準で試験を受け、規則第44号の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除き大抵の車両に適合します。
●車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられます。
●本装置は、3点式巻取装置付座席ベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席にはご使用できません。)
●ご不明な点は、お買い上げの販売店または㈱シーエー産商まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

⚠ 警告
事故につながったり、生命の危険、重大な傷害の恐れがある事を記載しています。

⚠ 注意
安全のため、ご注意していただきたい事を記載しています。

補足
より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

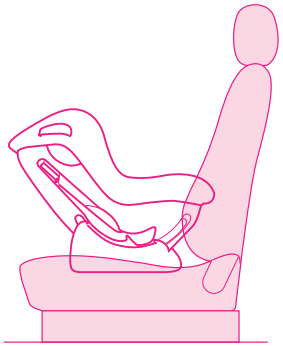
✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用の前にお子様に合った取り付け方法を確認し、ご使用ください。

ベビーシート〈グループ0+〉

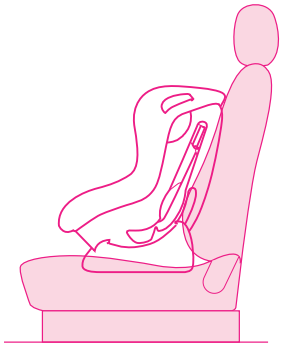
〈年齢の目安〉
新生児～1歳半ころ
〈適用体重〉
2.5kg以上13kg未満



車両の進行方向に対し
必ず後向きで
使用します。

チャイルドシート〈グループI〉

〈年齢の目安〉
1歳～4歳ころ
〈適用体重〉
9kg以上18kg以下



車両の進行方向に対し
必ず前向きで
使用します。

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。

⚠ 警告 お子様の体重が9kgを超えるまでは、前向きでの使用はお控えください。また、決して横向きや後向きの座席には取り付けないでください。

補足 年齢の目安は、あくまでも“目安”です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。

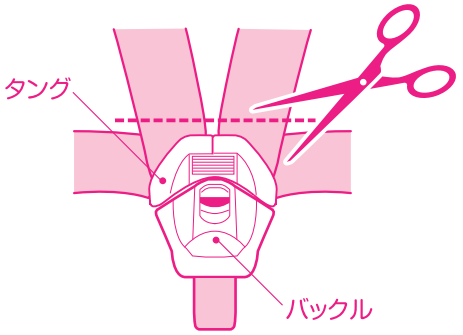
ご利用にあたって

⚠警 告

①本装置は説明書どおりに取り付けてください。
②車両のシートベルトの種類や座席の形状により、説明書どおりに取り付けることができない場合は、他の座席に取り付けてください。
③本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると、首に巻付き窒息する恐れがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
④衝突事故や本装置を落とすなど、強い衝撃を受けた場合は使用しないでください。
⑤本装置にお子様が乗っていない場合でも、車両のシートベルトで本装置を固定してください。
⑥本装置にお子様を乗せて使用される時は、バックルを外さないでください。
⑦お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように注意してください。時々タングがバックルから外れていないことを確認してください。
⑧後部座席に人が乗る場合、2ドア·3ドアの助手席や1BOX等乗員の乗降口側には、緊急時の脱出に支障となり危険ですので取り付けないでください。
⑨車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られません。傷ついた場合は使用しないでください。
⑩走行中に、本装置の調整や操作をしないでください。必ず車両を停車させてから行なってください。
⑪ご使用中に車両のシートベルトが緩む事があります。時々確認して、緩くなっている場合は再度取り付け直してください。
⑫エアバッグが装備されている座席では使用しないでください。事故の際、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、たいへん危険です。
⑬本装置を助手席に、やむをえず（前向き）取り付けた時、シフトノブやサイドブレーキに干渉する場合は、運転の妨げになり危険ですので使用しないでください。
⑭本装置のカバー·クッション材等を外して使用しないでください。また改造等はしないでください。本来の効果が発揮できなくなります。
⑮お子様を乗せ、セットできましたら、腰ベルトで骨盤がしっかり拘束され、肩ベルトが緩んでいないか確認をしてください。
⑯走行中は、お子様を本装置から降ろさないでください。急ブレーキや万一の時、お子様を支えきれなくなり危険です。
⑰走行中は、お子様に固いもの·鋭利なもの、おもちゃ等で衝突時に危害を与えるものは持たせないでください。重大な傷害を受ける恐れがあります。
⑱お子様を本装置に乗せたまま車両内に放置しないでください。太陽光で車両内が高温になり、死亡につながる場合があります。
⑲お子様を乗せる際、本装置が熱くなっていないことを確認してからご使用ください。

⚠注 意

①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
②本装置にお子様を乗せたまま、車両への取り付け·取り外しはしないでください。
③本装置を屋外で放置しないでください。太陽光·雨などで機能を損ねる原因となる恐れがあります。
④本装置から落ちる危険がありますので、装置の上で立ち上がったり、中腰にならないようにご注意ください。
⑤本装置に食べ物や飲み物をこぼさないようにしてください。汚れや故障の原因となります。
⑥車両のドアに本装置を挟まないように取り付けてください。
⑦衝突時に荷物などでお子様がけがをしないように、本装置の近くに物を置かないでください。

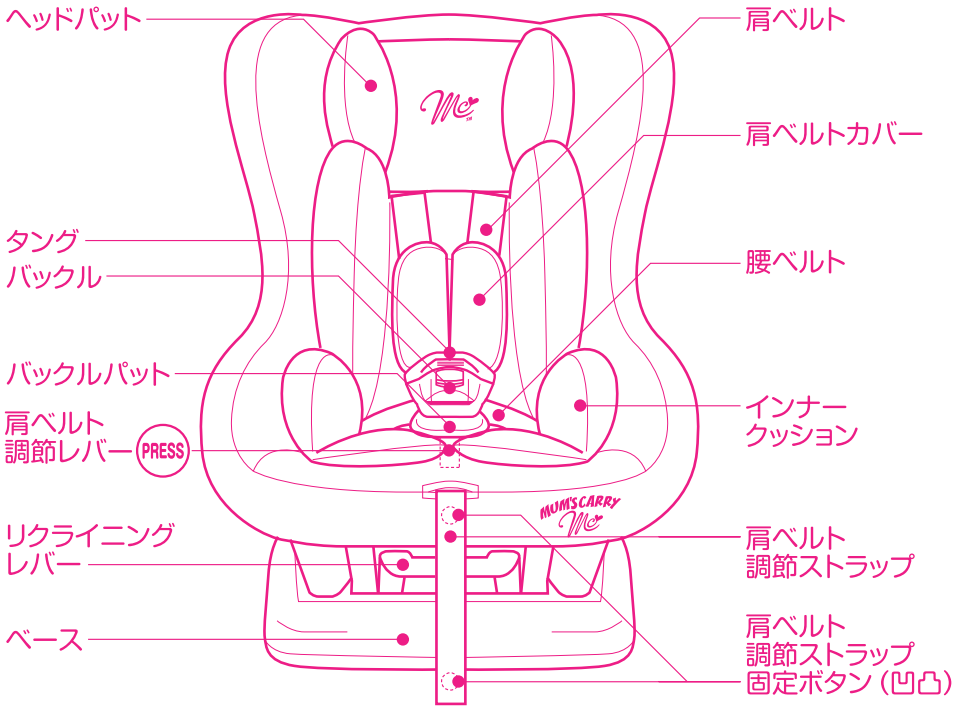


〈緊急時のご対応について〉

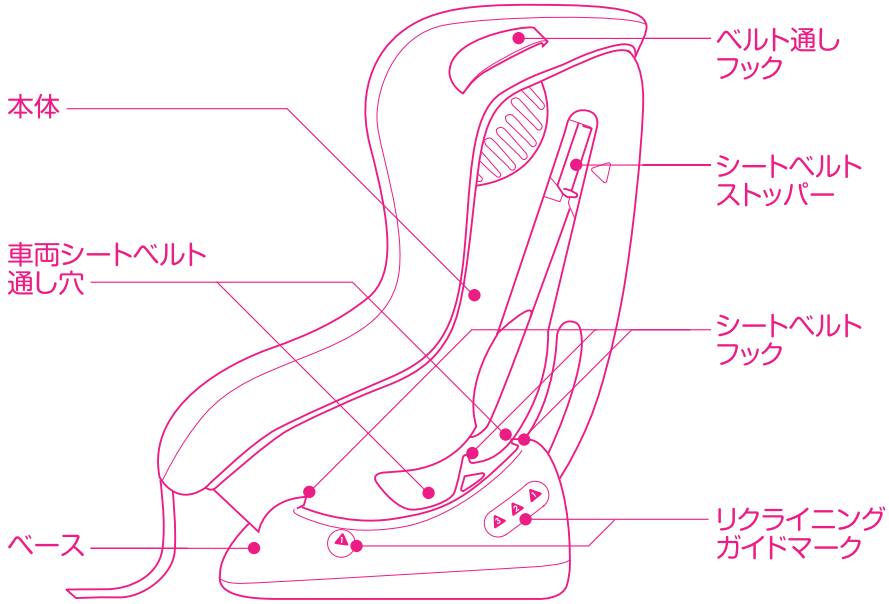
緊急時は、慌てず速やかにお子様を救出してください。赤いボタンを押してバックルからタングを離し、お子様を降ろしてください。赤いボタンを押してもタングが外れない場合は、本装置のベルトを、はさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

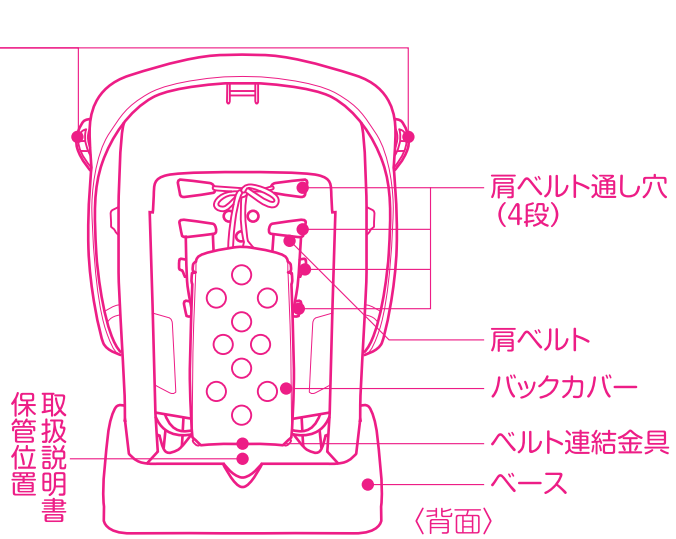
各部の名称

〈正面〉



〈側面〉

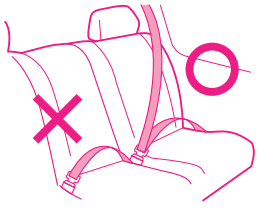


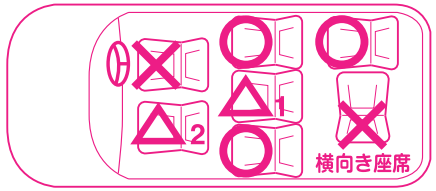


〈背面〉

車両取り付け可能箇所

○ 取り付け可能
× 取り付け不可
△1 3点式シートベルトの場合取り付け可能
△2 前向きのみ
※座席は最後部に調整してください。





●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、**後部座席への取り付け**をお薦めします。
※エアバッグ装備の助手席には、後向き取り付け不可

●進行方向に対し、**後向き・横向き**の座席には取り付けられません。事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。

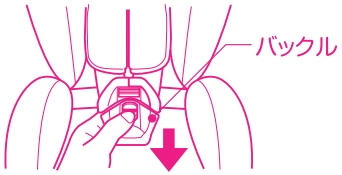
●**2点式シートベルト**の座席は、取り付けられません。

本装置の使い方

バックル・タングの使い方

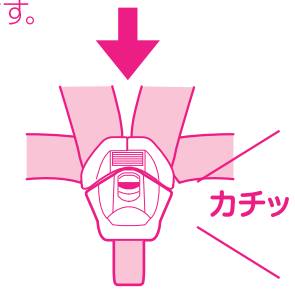
1

バックルの赤いボタンを押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



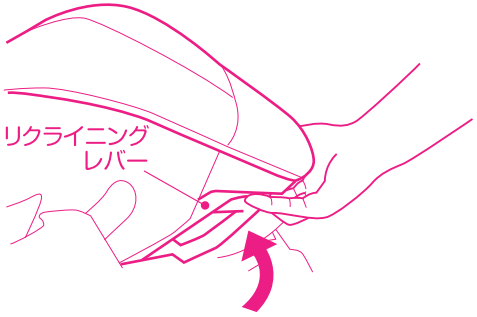
2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトをかけ、タングを真ん中に合わせ、バックルが「カチッ」と音がするまで差し込みます。

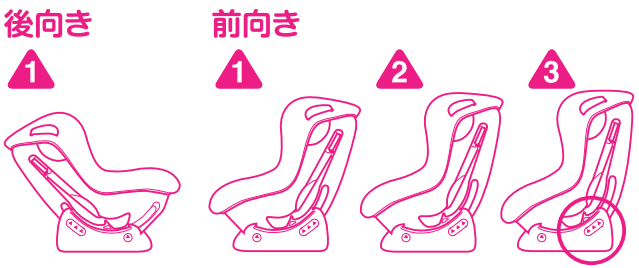


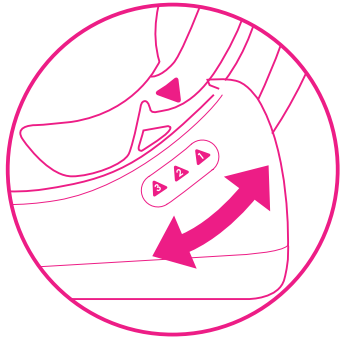
警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

リクライニングの調節



リクライニングレバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク▲（前向き3段階・後向き1段階）を適正な位置に合わせ、リクライニングレバーを離すと、本体がロックされます。



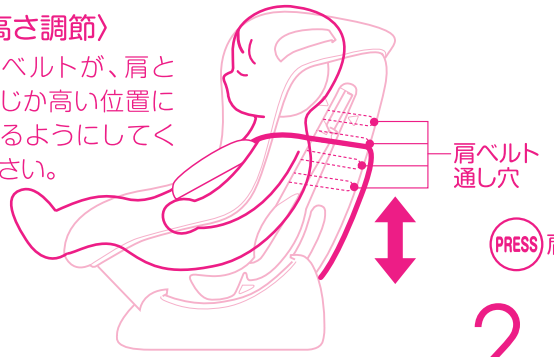


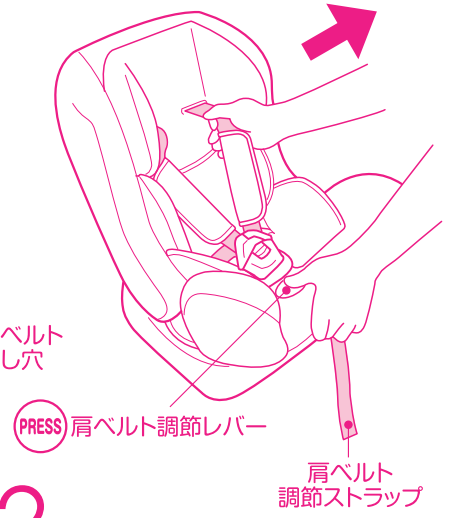
肩ベルトの調節

1

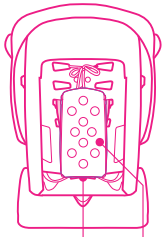
肩ベルトの調節は、肩ベルト調節ストラップを引くと締まり、肩ベルト調節レバーを押しながら肩ベルトを手前に引くと緩みます。

〈高さ調節〉
肩ベルトが、肩と同じか高い位置になるようにしてください。



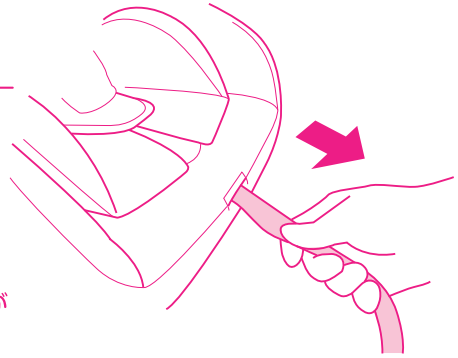


肩ベルトの位置を変更する場合は、バックカバーを外し、本装置背面の下にある連結金具から、肩ベルトを取り外し、適正な位置の肩ベルト通し穴に通してください。



2

肩ベルトの高さ調節ができましたら肩ベルト調節ストラップを引っ張り、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。
※肩ベルト調節ストラップの端は、固定ボタンで留めることができます。



補足
調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

ベビーシート（後向き）としての使い方

〈グループ0+〉…… 適用体重 **2.5kg以上13kg未満**

取り付け方（後席左側での取り付け例）

1

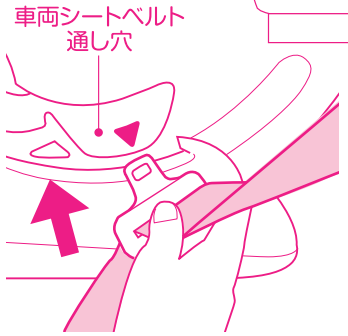
リクライニングガイドマーク▲（青1）に合わせてください。車両の進行方向に対し、後向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

注意 隙間がないようにする

警告 エアバッグ装着の助手席には絶対に取り付けないでください。

2

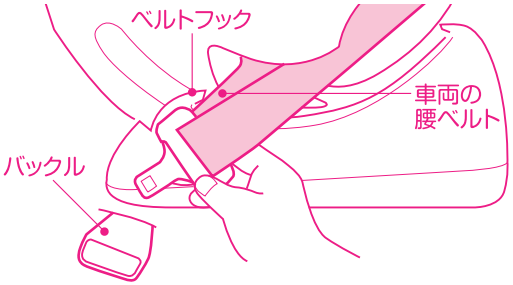
車両のシートベルトを、本装置の本体とベースとの間の車両シートベルト通し穴に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から引き出したシートベルトを、バックルにセットします。

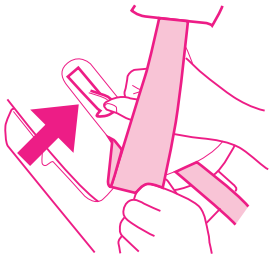
※車両の腰ベルトがベルトフックに掛かっていることを確認してください。

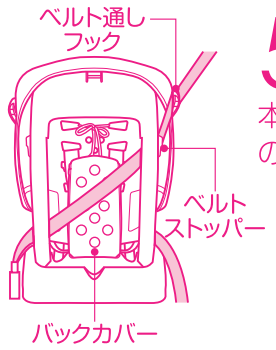


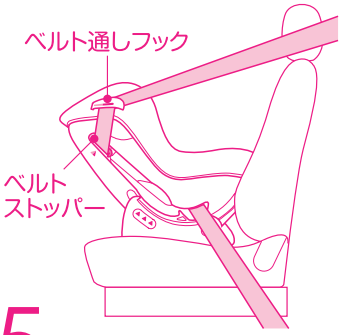
4

下図のように、ベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを通してください。

※車両の肩ベルトを通すときは、バックカバーの上から通してください。

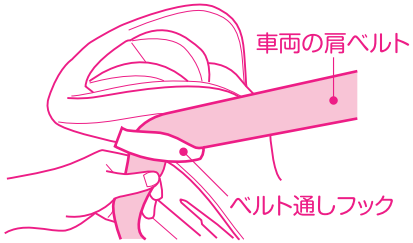


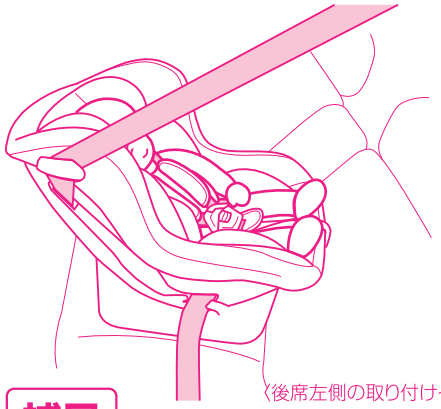




5

本装置のベルト通しフックに、車両の肩ベルトを通してください。





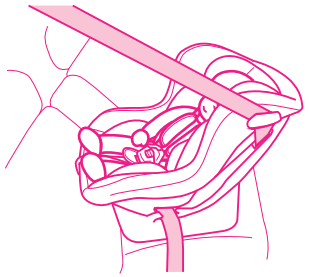
〈後席左側の取り付けイメージ〉

補足

背もたれや座席の調整ができる車両では、車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席を調整して、再度取り付けてください。

セット後の確認

- ぐらつきがなく安定していることを確認してください。
- シーベルトのタングとバックルが確実にセットされていること



〈後席右側の取り付けイメージ〉

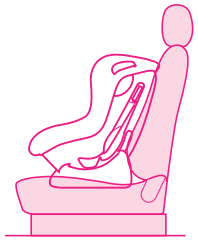
チャイルドシート(前向き)としての使い方

〈グループⅠ〉…… 適用体重 **9kg以上18kg以下**

取り付け方(後席左側での取り付け例))

1

リクライニングガイドマーク▲(赤1～3)に合わせ、適正な位置にセットしてください。車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

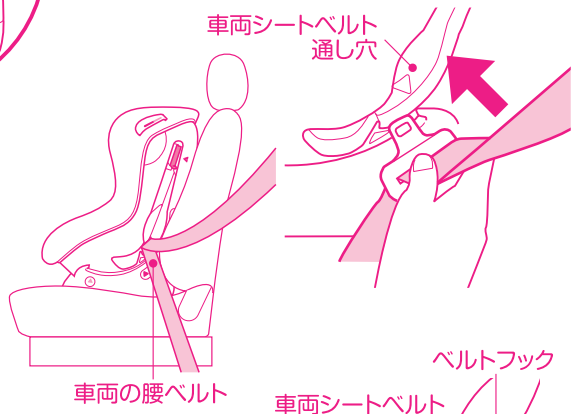


注意

隙間がないようにする

2

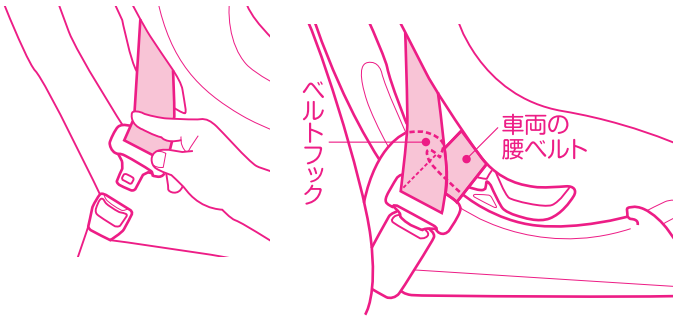
車両のシートベルトを、本装置の本体とベースとの間の車両シートベルト通し穴に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

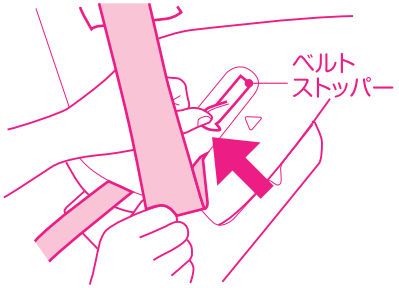
※車両の腰ベルトがベルトフックに掛かっていることを確認してください。

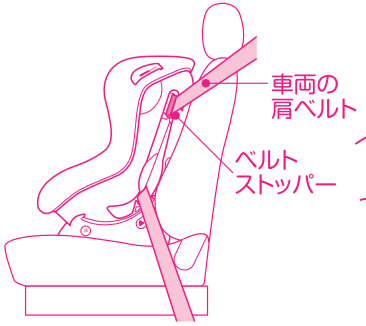


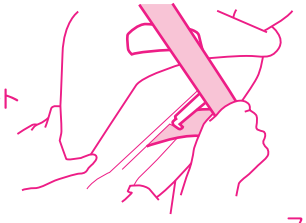
4

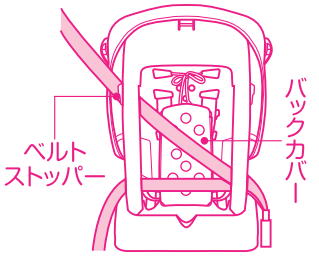
右図のように、ベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを通してください。

※車両の肩ベルトを通すときは、バックカバーの上から通してください。







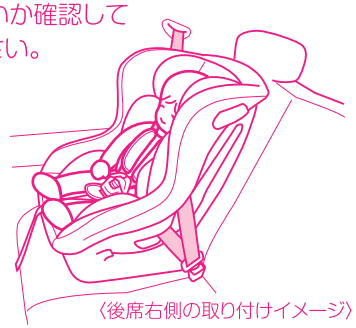


〈後席左側の取り付けイメージ〉

5

車両のシートベルトがピーンと張るように、本装置を車両の座席に押し付け、最後に車両の肩ベルトを強く引っ張り上げて固定してください。

※本装置の上部を前方に引っ張った際にぐらつきがなく、大きな隙間ができていないか確認してください。



〈後席右側の取り付けイメージ〉

警告

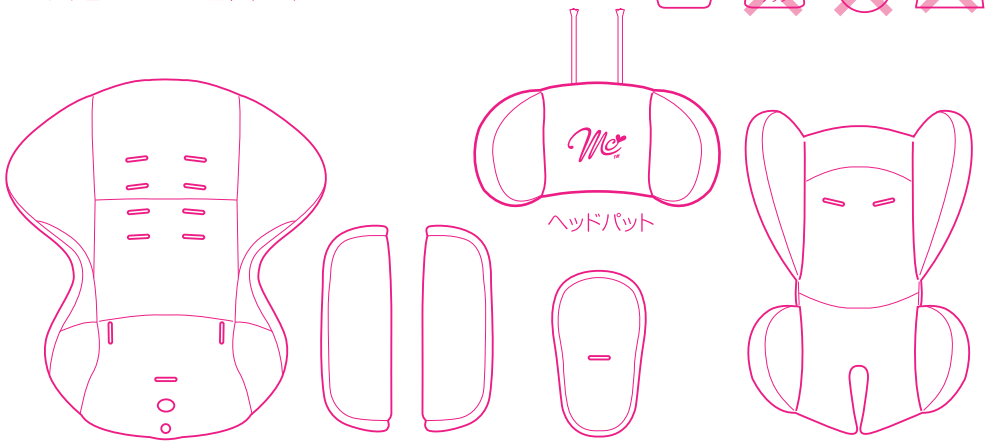
上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

各部のお手入れ

本体カバー・パット

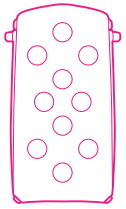
■カバー・パット

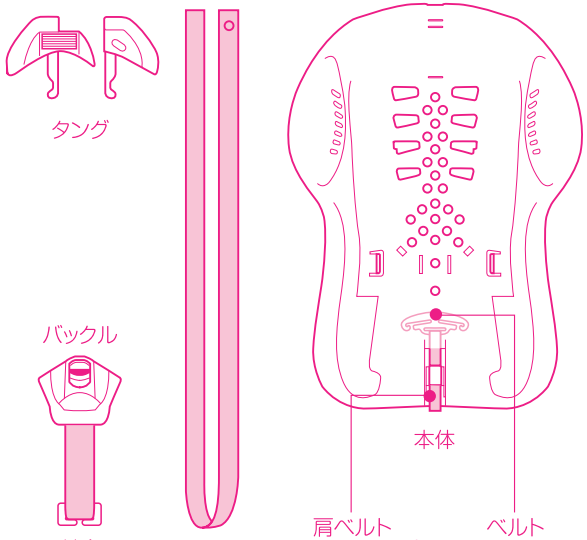
- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



■本体・ベルト・バックル・金具

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。





レジェ・チャイルドシート 保証書

保証期間：お買い上げから1年間

※お買い上げ時に、**お客様名・お買い上げ日・販売店名**をご記入ください。
または、**お買い上げレシート**を添付してください。

※本保証書は**再発行致しません**ので、紛失しないようにご注意ください。

お買い上げ年月日		年　月　日
商品名		マムズキャリー・レジェ・チャイルドシート
お客様	ご住所	〒 TEL (　　)　—
	お名前	
販売店	住所	〒 TEL (　　)　—
	販売店名	